

言語系教科マネジメントコース[国語]では、国語科授業に関する諸問題について、指導法（カリキュラム、生徒の力を高める指導、授業づくり、学習評価など）および専門的事項（文学表現、言語と思考、コミュニケーション、異文化理解など）を広く探究します。



フルタイムでの2年間は貴重な財産です(昼間)



オンラインを積極的に活用します(夜間)



実践知と経験値が高まります(課題研究と実習)



研究成果を学会で発表(言語表現学会)

## ことばのエキスパートを育てる



教授 菅井三実

【研究分野】

日本語学、言語教育

【担当科目】

言語の仕組みと言語教育



教授 羽田 潤

【研究分野】

国語科教育、メディア教育

【担当科目】

国語科授業実践研究



准教授 竹口智之

【研究分野】

日本語教育、動機づけ

【担当科目】

外国人児童生徒の指導と多文化共生

【メッセージ】

認知科学と現代日本語学における具体的な研究知見を踏まえて、言語教育における内容と方法の汎用性を高めることを目指す一方、国語科との連携における小中学校の英語教育も射程に入っています。

【メッセージ】

写真、絵本、マンガ、小説、CM、ドラマ、ドキュメンタリー、アニメ、映画等、子どもが日常的に楽しんでいるものを対象に、その特性をあきらかにし、教材化につなげるための作業を行なっています。

【メッセージ】

「国語」とは異なった方法で日本語を学ぼうとしている子どもたちがいます。外国だけにいるわけではありません。子供たちの日本語学習を楽しいものにできるよう一緒に考えてみませんか？



准教授 西田太郎

【研究分野】

国語科教育、文学教育

【担当科目】

国語科授業と言語文化



講師 児島啓祐

【研究分野】

古典文学、古典教育

【担当科目】

国語科授業と文学表現



教授 吉川芳則

【研究分野】

国語科教育、説明的文章、論理的思考力

【担当科目】

国語科授業実践研究

【メッセージ】

教室で文学教材を読むことには、どのような意義があるのでしょうか。ことばを通して、ことばで考え、ことばを学ぶ子どもたちの姿から、一緒に答えを探していきましょう。

【メッセージ】

日本の古典文学が生まれた時代の学問や宗教思想を踏まえて、作品の魅力を新たにつかみ直す研究をしています。昔のものを探るためには昔の人の考え方を徹底的に寄り添うことが有効と考えています。

【メッセージ】

読むこと(わけても説明的文章)領域を中心に、学習活動論や学習指導過程論の観点から、学習者が主体的に取り組む国語科授業の要件について研究しています。

詳しくはWEBページへ <https://hyokyogengo.jp/japanese/>



公式Youtubeチャンネル

